



山なみ分校の教育目標

◇みんな仲よく

○集団生活への参加・適応と健康生活、社会生活への適応ができる力を育てる。

◇きりつ正しく

○基本的な生活習慣の確立と健康生活を向上させる力を育てる。

◇すすんで働く

○勤労意欲・働く態度の向上と職業生活への参加する力を育てる。

会食で仲間意識の向上を

23日(土)今年度も啓北中学校や町内会や保護者の皆様など、多くの方々の協力を得ながら、体育大会を無事に終わることができました。皆様の温かい拍手や声援が生徒たちの励みとなり、いつも以上にはりきる姿を見ることができました。お礼申し上げます。

さて、本分校では、体育大会での団結を図るためにおよそ1週間前に交流給食を実施しています。普段は学年ごとに食べている給食を、体育館で一堂に会して会食することで仲間意識を高めていきます。また、体育大会終了後には啓北中学校のボランティアをしてくれた生徒とお昼ご飯と一緒に食べ、交流を深めています。マラソン大会でも和光中学校の生徒と食事で交流をしました。

近年、「核家族化」やライフスタイルの多様化により、食生活も多様化しています。一人で食事をする「孤食」や、同じ食卓に集まっても、家族がそれぞれ別々のものを食べる「個食」が増えているようです。

平成23年の内閣府の調査によると、食事を家族と一緒に食べることは、一人で食べるよりどのような良い点があると思うか、3つまで選んでもらったところ、「コミュニケーションを図ることができる」が最も多く81.1%、「楽しく食べることができる」が66.2%と特に多くなっていました。食事をする目的は単に栄養をとることだけではありません。食事はその日の出来事を話し合ったりするコミュニケーションの場としても重要です。

また、一緒に食べると、食事のマナーや料理についての関心が高くなり、いろいろな栄養もとりやすく、何よりも、楽しくおいしく食べることができま

す。
学校でもコミュニケーションを育てる一環として食育を進めてまいりますので、ご家庭でも一緒に食事をする機会を増やしていただけると幸いです。



7月の行事予定

- 2日 学期末テスト(情緒)
- 3日 学期末テスト(情緒)
- 4日 避難訓練
午前授業(苦教研のため)
- 6日 市P連 母親委員会
- 11日 個別懇談週間(～17日)
市P連 単P会長会議
- 13日 参観日・全体懇談
防犯教室
- 16日 **海の日**
- 20日 お楽しみ会
- 24日 終業式
(5時間授業・給食あり)
- 25日 **夏休み(～8月19日)**
- 27日 登校日
- 28日 有珠の沢町内会祭



体育大会は終わりましたが・・・

皆様の協力の下行われた体育大会。着替えや入浴などの衛生面についてご家庭での配慮あつての成功でした。この後も暑い日が続くことが予想されます。必要に応じて替えのシャツやタオルの用意をお願いします。

熱中症予防の保冷タオル等についてもお子さんの体調等に合わせて用意していただいてもかまいません。

個別懇談が始まります

11日(水)より個別懇談が始まります。お忙しい中とは思いますが、ご来校願います。懇談の内容は主として1学期の学習や生活の様子についてです。また夏休みの課題などの相談や2学期以降の個別の指導計画の作成についてもお話し合いをさせていただきたいと考えています。よろしく願います。

自分の身は自分で守る

先月、大阪をはじめ日本各地で大きな地震が起きました。災害は気をつけていても必ず防げるものではありません。そのため4日には避難学習があります。今年度は消防署の協力を得て、消火器の使い方などの学習も行います。

また、災害以外にも人為的な被害についても気をつけていく必要があります。13日の参観日に合わせ、防犯教室を実施します。苫小牧警察の方が講師として来校します。ぜひ保護者の皆様もご参加ください。

先日、知事より『子どもの安全を守るためのメッセージ』が出ましたので、紙面右にてお伝えいたします。



6 / 8 交通安全教室の様子

道民の皆様へ

子どもの安全を守るための知事メッセージ
～地域の絆を深めて子どもたちを守りましょう～

北海道内では、子どもが見知らぬ大人から暴力を受ける事件や、不審な声掛け、つきまといの事案が後を絶たず、子どもを取り巻く環境が極めて憂慮すべき状況にあり、全国的にも、幼い子どもの命が奪われるという、大変痛ましい事件が起こっています。

道民の皆様には、「子どもたちの安全を守る」という共通の思いのもと、登下校時間帯を中心に地域の子どもたちを見守る活動にご協力をいただきますとともに、異変を感じた場合には学校や警察へ通報するなど、子どもたちの安全確保に向けて取り組んでいただくよう願います。

また、地域の子どもたちに対しては、「防犯ブザーや大声で近くの大人に知らせる」、「近くのお店や家に逃げ込む」など、危険な状況に遭った場合の具体的な行動について、分かりやすく伝えていただきたいと思います。

北海道、北海道警察、北海道教育委員会は、市町村をはじめ、多くの企業や団体の皆様のご協力をいただきながら、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現を目指す「安全・安心どさんこ運動」を展開しています。

家庭や地域、社会の中で、お互いが声を掛け合い、できることから行動し、子どもたちを地域全体で守りましょう。

平成30年6月8日

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議会長

北海道知事